

当別文芸の会だより（臨時号）

H25・9/27 発行（連絡先・河地良一 TEL23-2103）

11月の読書会は久保俊治の「熊撃ち」です

11月16日（土）13:30 白樺コミセンでの読書会（例会）は、久保俊治（くぼとしはる）の「熊撃ち」（小学館文庫）を取り上げます。

作者は昭和22年（1947）に北海道で生まれ、熊ハンターとなり渡米、現地のハンティングガイド学校で学び、昭和51年（1976）に帰国後、道東・標津町で牧場を経営しながら猟を続ける。

昭和60年（1985）から長女の名前をつけた北海道放送（HBC）のテレビ・ドキュメンタリー番組「大草原の少女みゆきちゃん」の父親でもあり、自然と人間の暮らしを考えるノンフィクション作品として、11月の読書会で取り上げることにしました。出来るだけ早く作品をお手元にということで、今回、早めにお届けいたします。

新名正勝さんから「訪中報告」が届いています

8月27日、内モンゴル自治区の肉牛牧場の指導で出発したメンバーの新名さんから、「訪中報告」の第1報がメールで届きましたので、この臨時号と一緒にお届けいたします。

10月26日（土）は「文芸セミナー」です

当日13:30からの「文芸セミナー」の会場は、JR石狩当別駅前のふれあい倉庫（カルチャーホール）です。

北をめざした坂本龍馬一族についての「講演」「DVD視聴」「文芸セミナー」といった内容です。だよりNO.42と一緒に、ご案内をさせていただきましたが、ぜひ、たくさんの方を誘って参加いただければ幸いです。

参加費は500円、当日会場で受付いたします。